

リリムジカは“心をこめた音楽”という意味。「介護と音楽」をテーマに役に立つ情報をまごころこめてお届けします。

## 楽器の使い方 (生活に音楽を取り入れる効果 その4 続き)

前号の通信では歌の会で用いる楽器をどのように選ぶかについて書きました。今回は楽器をどう活用するかについて考えます。

そもそも楽器を使うメリットは曲の雰囲気が出ることと、参加の仕方が広がることでした。楽器のお誘いに対しては乗り気な方もそうでない方もいます。大事なものは、参加者にいかに進んで楽器を手にとっていただくかです。場の参加者が楽器を断る原因はたいてい次の2つのどちらかです。1つめは失敗するのが不安というケース。見慣れない楽器に対して不安を感じるのは自然なことです。そんなときは、参加者さんの横で楽器を鳴らして見せてみたり、「簡単ですよ」と言葉を添えてみましょう。



使いやすい楽器の例  
フレームドラム  
バチでも手でも叩ける

受け取ってくださる確率が高まります。2つめは目の前の楽器に関心が持てないケース。ただ楽器を渡されるだけでは人はわくわくしません。楽器をお渡しする前に自分で鳴らしてみても楽しさを伝えたり、「いい音ですね」などと感想を話したりしてはいかがでしょうか。興味を持ってくださる可能性が高まります。

リリムジカ通信のバックナンバーはホームページでご覧ください♪

### Q&Aコーナー

アカペラと一緒に歌っていただくにはどうしたらいいですか？

「職員のアカペラだと中々みなさんがついてこなくて・・・」たしかにギターやピアノなど伴奏がある方が、華やかさや雰囲気が出ます。しかしアカペラにはアカペラの良さがあります。たとえばテンポや音程をみなさんに合わせやすいです。手拍子をしている方がいたらその方のテンポに近づけます。またみなさんが歌っている音程をよく聞いて自分もその音程に近づけます。メロディーをはっきり歌いながらテンポや音程を合わせることで、歌いやすいリードになります。



## 【クイズ】 この曲のタイトルは何でしょう! ?

初級：花も嵐も 踏み越えて

中級：澄行く水に 秋萩たれ (ヒント：2番の頭)

上級：心しみじみ 吹く横笛に (ヒント：3番の途中)

【答え】 初級：旅の夜風 中級：故郷の空 上級：名月赤城山